

## トラック輸送情報（平成22年9月分）

平成22年12月27日

国土交通省 総合政策局 情報政策本部 情報安全・調査課 交通統計室

担当：中野、金子、菊池 内線28722

直通：03-5253-8346

ホームページ：<http://www.mlit.go.jp/k-toukei/index.html>

### 1. 特別積合せ貨物

#### (1) 本月の概況

調査対象26社の本月の輸送量は、5,523,589トンで、前月と比べ総輸送量が約28万トン増加したため、前月比105.3%（季節調整済み98.4%）となり、前年同月との比較では、約19万トン増加したため、前年同月比103.5%の実績であった。

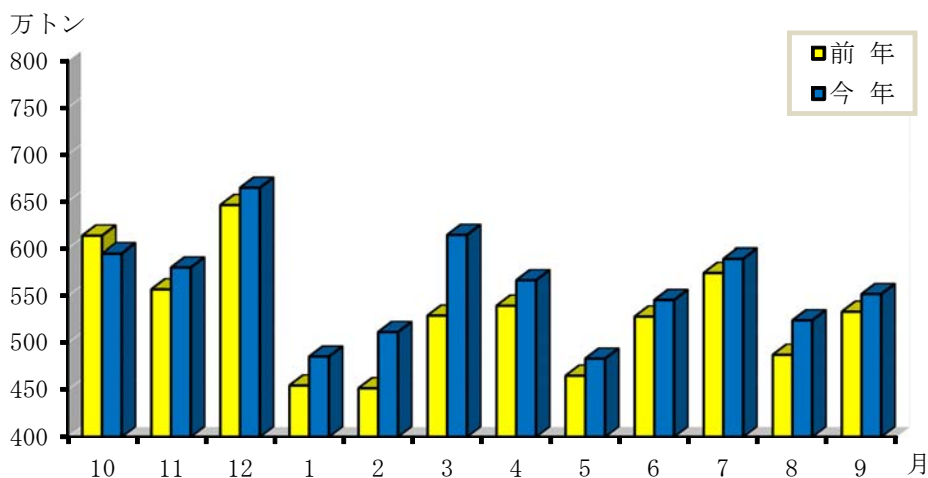
なお、平均稼働日数は23.5日で、前月と同日数であり、前年同月との比較では、0.6日増加であった。稼働1日当たりの輸送量は、235,046トンで、前月と比べ約1万2千トン増加したため、前月比105.3%となり、前年同月との比較では、約2千トン増加したため、前年同月比100.9%の実績であった。

（図1-1、図1-2参照）

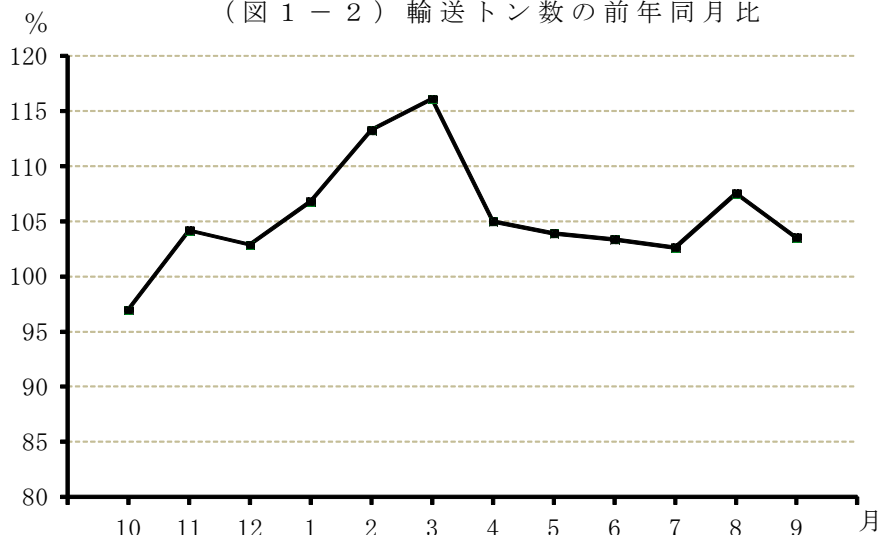
注）平成22年7月から貨物輸送の調査対象については、1社減り、26社となった。

前月比及び前年同月比は、26社ベースで比較している（図1-1及び図1-2は26社ベースで作成）。

（図1-1）輸送トン数の推移



（図1-2）輸送トン数の前年同月比



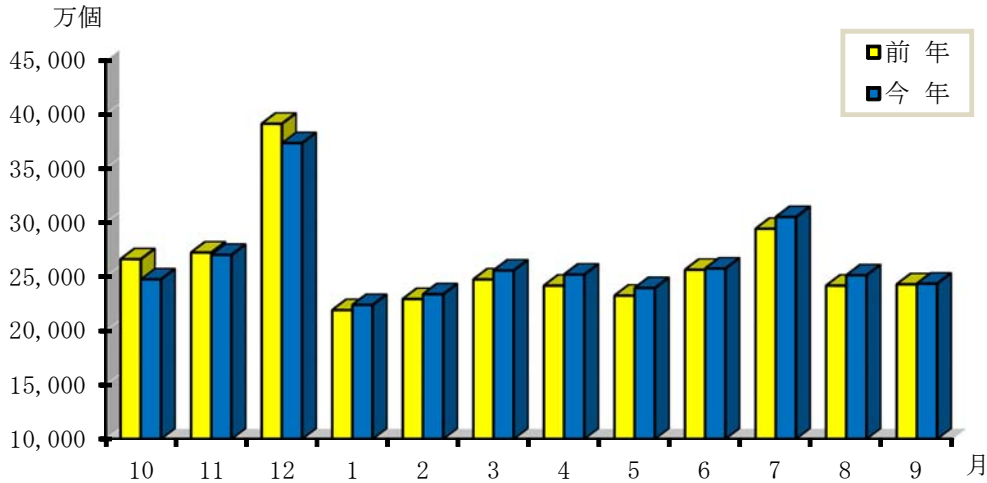
(2) 宅配便の概況

調査対象 17 社の本月の宅配便貨物の取り扱い個数は、243,679 千個で、前月と比べ 約 773 万個減少したため、前月比 96.9% (季節調整済み 96.5%) となり、前年同月との比較では、約 62 万個増加したため、前年同月比 100.3% の実績であった。

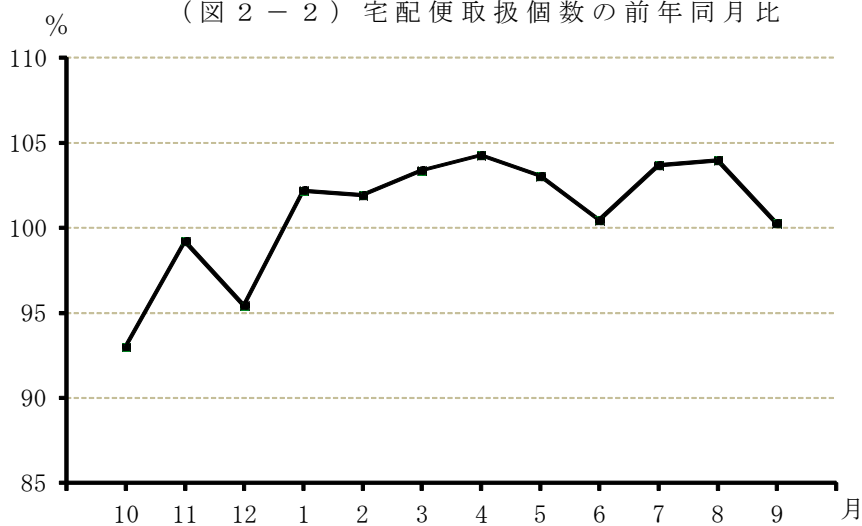
(図 2-1、図 2-2 参照)

注) 平成 22 年 7 月から宅配便輸送の調査対象については、事業承継により 1 社減り、17 社となった。

(図 2-1) 宅配便取扱個数の推移



(図 2-2) 宅配便取扱個数の前年同月比



(3) 調査対象 27 社の品目別及び地域別輸送状況 (表 1 参照)

前月と比べると、いくつかの品目で、輸送量が増加したと回答する事業者が多かった。増加要因としては、工場・生産地からの貨物増等が「金属製品」、「機械」、「化学工業品」、「繊維工業品」、「日用品」等で見られた。「金属製品」、「機械」、「繊維工業品」、「日用品」の主な増加地域は東京、神奈川、北陸信越、中部地方、近畿地方、中国であった。

前年同月と比べると、工場・生産地からの貨物増等が「金属製品」、「機械」、「化学工業品」等で見られた一方で、倉庫から出る貨物減等が「食料工業品」、「日用品」で見られた。主な増加地域は、東京、神奈川、北陸信越、中部地方、近畿地方、中国であった。一方、「食料工業品」、「日用品」の主な減少地域は、関東、近畿であった。

(表1) 品目別増減状況 (回答事業者数 27社)

品目	増減事業者数				主な増減品目 (上段が増加・下段が減少)	主な増減地域	※増減要因		
	著増	増	変らず	減					
前 月 に 比 べ て	農水産品		2	12	2	2			
						野菜、果物	東北、中国	4	
	金属製品	1	6	13	1		その他の金属製品	関東地方、北陸信越、中部地方、近畿地方、中国	4
	機械	1	7	12	1		電気機械、機械部品	関東地方、北陸信越、中部地方、近畿地方、中国	4, 7, 8
	化学工業品		7	12	3		化学薬品	神奈川、関東	4, 7
繊維工業品		5	17			織物、その他の繊維工業品	関東地方、北陸信越、中部地方、近畿地方、中国	4	
食料工業品		3	14	3		製造食品	近畿	4	
						飲料、その他の食料工業品	東京、関東	5	
日用品		12	7	3		書籍・印刷物、文具、その他の日用品	北海道、東京、神奈川、北陸信越、中部地方、近畿地方、中国、九州、全国	4, 5, 7	
その他		5	12	2	3				
						宅配便、百貨店配送品	全国	8	
前 年 同 月 に 比 べ て	農水産品			15	3				
						果物	東北	4	
	金属製品	1	5	13	2		その他の金属製品	関東地方、北陸信越、中部地方、近畿地方、中国	4
	機械	2	7	11	1		電気機械、機械部品	関東地方、北陸信越、中部地方、近畿地方、中国	4, 7
	化学工業品		5	14	3		その他の化学工業品	大阪、中国	4
繊維工業品		4	15	3		その他の繊維工業品	東京、神奈川、北陸信越、中部地方、近畿地方、中国	4	
食料工業品			16	4					
						飲料	東北、関東地方、近畿、四国	7	
日用品	1	2	11	7	1				
						書籍・印刷物、衣服、玩具、その他の日用品	関東、近畿	5, 7, 9	
その他	2	4	10	3	3		全国	4	
						百貨店配送品	神奈川、関東	10	

(注) 「主な増減地域」については、16地域[全国、6大都市圏(東京、神奈川、愛知、大阪、兵庫、福岡)及び地方運輸局(6大都市圏を含む場合はそれらを除く府県、九州は沖縄を含む)]単位である。なお、地方運輸局に6大都市圏を含む場合は「～地方」と表記した。

※増減要因	1. 新規荷主獲得(荷主契約解除)	6. 倉庫へ入る貨物増(減)
	2. デパート、スーパーの貨物増(減)	7. 倉庫から出る貨物増(減)
	3. 他機関から貨物が来た(へ流れた)	8. 季節的需要増(減)
	4. 工場・生産地からの貨物増(減)	9. 景気の好況(不況)
	5. 商社・問屋からの貨物増(減)	10. その他

## 2. 一般貨物

### (1) 本月の輸送状況

全国の一般貨物トラック事業者（本月の回答事業者数 804 社／調査対象事業者数 1,089 社）の輸送量は、前月比 105.7%、前年同月比 102.6%であった。

(表2) 地方運輸局別 前月比・前年同月比

	全 国	北海道	東 北	関 東	北 信	陸 越	中 部	近 畿	中 国	四 国	九 州	沖 縄
前 月 比	105.7 %	111.2 %	104.0 %	103.0 %	101.7 %	108.1 %	103.1 %	105.6 %	102.1 %	103.3 %	96.5 %	
前年同月比	102.6 %	98.7 %	105.0 %	103.1 %	101.7 %	105.5 %	103.8 %	104.5 %	104.4 %	103.6 %	104.0 %	

### (2) 本月の地方運輸局別管内輸送状況（各運輸局より回答のあったもの）

北海道	<p>本月の輸送は、対前月比 111.2%、対前年同月比 98.7%であった。品目別には、季節的需要増等により「穀物」、「野菜・果物」、「その他の農産品」、「その他の石油製品」、「化学肥料」等が、建設関連の需要増等により「砂利・砂・石材」、「工業用非金属鉱物」、「セメント」等が、それぞれ増加したと回答する事業者が多かった。一方、工場・生産地からの貨物減等により「紙パルプ」等が減少したと回答する事業者が多かった。今後の輸送見通しは、次月及び以降ともに増加傾向と予想される。</p>
東北	<p>本月の輸送は、対前月比 104.0%、対前年同月比 105.0%であった。品目別には、季節的需要増及び倉庫への入出庫増等により「穀物」等が、景気回復の兆し等により「機械」等が、それぞれ増加したと回答する事業者が多かった。一方、季節的需要減等により「日用品」等が減少したと回答する事業者があった。今後の輸送見通しは、次月はほぼ横ばい、以降は減少傾向と予想される。</p>
関東	<p>本月の輸送は、対前月比 103.0%、対前年同月比 103.1%であった。品目別には、季節的需要増等により「動植物性飼・肥料」等が増加したと回答する事業者があった。一方、季節的需要減により「その他の石油製品」が減少したと回答する事業者があった。今後の輸送見通しは、次月はほぼ横ばい、以降は増加傾向と予想される。</p>
北陸信越	<p>本月の輸送は、対前月比 101.7%、対前年同月比 101.7%であった。品目別には、季節的需要増により「穀物」、「野菜・果物」等が増加したと回答する事業者が多かった。一方、季節的需要減等により「揮発油」、「食料工業品」等が減少したと回答する事業者があった。今後の輸送見通しは、次月及び以降ともに減少傾向と予想される。</p>
中部	<p>本月の輸送は、対前月比 108.1%、対前年同月比 105.5%であった。品目別には、工場・生産地からの貨物増等により「機械」、「セメント」等が増加したと回答する事業者があった。一方、「その他の化学工業品」等が減少したと回答する事業者があった。今後の輸送見通しは、次月はほぼ横ばい、以降は減少傾向と予想される。</p>
近畿	<p>本月の輸送は、対前月比 103.1%、対前年同月比 103.8%であった。品目別には、季節的需要増等により「化学薬品」、「紙・パルプ」等が増加したと回答する事業者があった。一方、不況の影響等により「金属製品」等が減少したと回答する事業者があった。今後の輸送見通しは、次月及び以降ともに減少傾向と予想される。</p>
中国	<p>本月の輸送は、対前月比 105.6%、対前年同月比 104.5%であった。品目別には、季節的需要増等により「その他の農産品」等が、景気回復の兆し等により「機械」等が、それぞれ増加したと回答する事業者が多かった。一方、不況の影響等により「繊維工業品」等が減少したと回答する事業者があった。今後の輸送見通しは、次月は増加傾向、以降は減少傾向と予想される。</p>
四国	<p>本月の輸送は、対前月比 102.1%、対前年同月比 104.4%であった。品目別には、建設関連の需要増等により「機械」等が増加したと回答する事業者があった。一方、季節的需要減により「水産品」等が減少したと回答する事業者があった。今後の輸送見通しは、次月及び以降ともに増加傾向と予想される。</p>
九州	<p>本月の輸送は、対前月比 103.3%、対前年同月比 103.6%であった。品目別には、建設関連の需要増等により「廃棄物」等が、工場・生産地からの貨物増等により「鉄鋼」、「金属製品」、「機械」等が、天候の影響等により「木材」等が、季節的需要増等により「日用品」等が、それぞれ増加したと回答する事業者が多かった。一方、建設関連の需要減等により「砂利・砂・石材」、「セメント」が、季節的需要減等により「食料工業品」等が、口蹄疫の影響により「動植物性飼・肥料」が、それぞれ減少したと回答する事業者が多かった。今後の輸送見通しは、次月及び以降ともに減少傾向と予想される。</p>
沖縄	<p>本月の輸送は、対前月比 96.5%、対前年同月比 104.0%であった。品目別には、建設関連の需要増により「セメント」が、商社・問屋からの貨物増により「木材」が、それぞれ増加したと回答する事業者があった。一方、輸出入の貨物減により「紙・パルプ」、「金属くず」が減少したと回答する事業者があった。今後の輸送見通しは、次月はほぼ横ばい、以降は増加傾向と予想される。</p>

## (3) 運輸局別、品目別増減状況 (対前月比)

回答のあった事業者数を取りまとめた。各欄のうち上段は増加、下段は減少件数である。

品目		運輸局		北	東	関	北	中	近	中	四	九	沖	全
		海	道	北	東	陸	信	部	畿	国	国	州	縄	計
1. 穀物	増	4	6			2								12
	減	1	3							1	1			6
2. 野菜・果物	増	8	2			2				2		2		16
	減		2							1		4	1	8
3. その他の農産品	増	3				1				3	1	1		9
	減	1										2		3
4. 畜産品	増	1										1		2
	減	1										1		2
5. 水産品	増	2	1			1						1		5
	減					1				1	1	2		5
6. 木材	増	3						1				3	1	8
	減	1				1								2
7. 薪炭	増													
	減													
8. 石炭	増	1												1
	減		1											1
9. 金属鉱物	増		1											1
	減											2		2
10. 砂利・砂・石材	増	10	1							3		2		16
	減	5	2			1				2		4		14
11. 工業用非金属鉱物	増	3	1			1	1					1		7
	減		2			1				1		1		5
12. 鉄鋼	増	1	2			1		2	5	1	3			15
	減	2							1		1			4
13. 非鉄金属	増	1	1			1								3
	減													
14. 金属製品	増	1	1			1	1	1	4	1	3			13
	減		1			1	1	3	3		1	1		11
15. 機械	増	1	4	1		2	2		6	2	4	1		23
	減					2	1	1	1		3			8
16. セメント	増	5				1	2			1	2	1		12
	減	2				1	1		1		4			9
17. その他の窯業品	増	1	1	1		1			1					5
	減		1						1		1			3

運輸局		北 海 道	東 北	関 東	北 陸 信 越	中 部	近 畿	中 国	四 国	九 州	沖 縄	全 国 計
18.揮 発 油	増		1	1					1			3
	減				2							2
19.その他の石油製品	増	3			1			1				5
	減		2	1	1			1		1		6
20.コークス・ その他の石炭製品	増											
	減				1							1
21.化 学 薬 品	増						2			2		4
	減		1									1
22.化 学 肥 料	増	2	2				1	1				6
	減		1		1							2
23.その他の化学工業品	増		2					1		2		5
	減				1	1		1				3
24.紙 ・ パ ル プ	増					1	3		1	4		9
	減	2	1	1						1	1	6
25.織 維 工 業 品	増				1				1	1		3
	減						1	2				3
26.食 料 工 業 品	増	1	4	2			4	3	2	2		18
	減		5	2	2		3		1	5		18
27.日 用 品	増	2		2		1		2		3		10
	減		2			1	1			1		5
28.その他の製造工業品	増		1	2	1	1	1			3		9
	減			1				1				2
29.金 属 く ず	増							1				1
	減										1	1
30.その他のくずもの	増											
	減								1	1		2
31.動植物性飼・肥料	増	5	2	2					1	2		12
	減	3	1		1					2		7
32.廃 棄 物	増							1		2		3
	減											
33.輸 送 用 容 器	増				1			1	1	1		4
	減		1		1						1	3
34.取 り 合 せ 品	増		1	1				3		1		6
	減							1		2	2	5
35.そ の 他	増		1	2	1		1	4		2		11
	減		1	1	1		2	3				8